

前田晁 まへだ 織譯家、小説家。明治十二年一月十五日山梨縣生れ、昭和二十八年九月九日歿（二六九—九六二）。筆名一記者（『文章世界』）、前田木城、北村新一、木城生、村の人、梅城、磯千鳥、鯨生、ABC、BJ、BM等。明治二十七年早稻田大學卒。隆文館、成功雜誌社を経り、二十九年博文館に入り雑誌『文章世界』の編輯に従事。のち讀賣新聞社婦人部長、金星堂『世界文學』主宰、日本電報通信社出版部長など。兒童文學者徳永壽美子は妻。

譯書 〔短篇十種〕 モウパッサン集（明治四十四年一月十六日博文館）、モ

ウパッサン作『誘惑』（大正十二年十一月十二日南社）、〔短篇十種〕 キー

ランド集（大正二年九月四日博文館）、ゴンクウ作『陥穽』（大

正五年八月八日博文館）〔近代西洋文學叢書〕、モウパッサン作『白晝

の散歩』（大正七年六月四日博文館）、ヤミーチス作『クオレ』（大

正九年六月二十日家庭讀物刊行會『世界少年文學名作集』）、『モウ

パッサン全集・第拾四卷—女の巧み外拾八篇』（共譯、大正十一年二月

月二十日大南社）、ギィ・ドゥ・モウパッサン作『兄の憂愁』（大正

十一年十月二十五日金星堂『全譯名著叢書』）、ザイクトル・ユーゴ

ー作『女王の戀』（大正十二年六月十八日近代名著文庫刊行會『近代

名著文庫』）、ヘンドリック・ザン・ルーン著『世界文學史物語』

（大正十四年十一月十二日早稻田大學出版部）、モウパッサン作『ピ

エエとジャン』（昭和二年十一月十日岩波書店『岩波文庫』）、ヤミ

ーチス著『クオレ』（愛の學校）『全一冊（上巻）』昭和四年一月五日、

下巻、二月十日岩波書店『岩波文庫』）、モウパッサン作『生の誘惑』

（原名イヴェット）（昭和八年七月五日岩波書店『岩波文庫』）、

同短篇集『裝飾他七篇』(昭和八年一月十日岩波書店「岩波文庫」)、
エッセイオーズ作『少技師ジャージム』(昭和八年五月十八日春陽堂
「少年文庫」)、『キイランド短篇集』(昭和九年二月二十五日岩波
書店「岩波文庫」)、モウパッサン作『市民の自確白』(昭和十年
七月十五日健文社)、モーパッサン作『春の戯れ』(昭和十四年四月
七日新潮社「新潮文庫」)、ヴァン・ルーン著『聖書物語』全一冊
(上巻・昭和十六年十一月十五日、下巻・十七年十月十日岩波書店
「岩波文庫」)、セルタ・ラゲルレフ(ラーゲルレーフ)作『エヒサ
レム』(昭和十七年十月十日今日の問題社「ノーブル賞文學叢書」)、
『モウパッサン 戀愛の書』(編、昭和二十年九月二十日、再刊、二十
一年七月二十日新人社「人生叢書」)、チエーボフ作『藥の利を過
ぎ』(昭和二十一年十月一日瑞書房)、ドーデー作『戀のサノオー』
(昭和二十一年十月一日五百新文社「世界名著物語文庫」)、ダニエ
ル・デフォー作『ロビンソン漂流記』(昭和二十一年二月二十日童話
春秋社「世界名著物語」)、ゴントウウラ作『ジエルミニネ・テセルト
ウ』(昭和二十二年十一月十五日南人社)、『愛の學校(クオレ)物語』
(昭和二十二年十一月二十日實業之日本社「世界名作文庫」)、モー
パッサン作『ピエールとジヤン』(昭和二十四年一月二十一日青磁社)、
同『ピエールとジヤン』(決定版)、『(昭和二十四年六月十五日西郊書房、
附・小説のついで)、タミーチス作『クオレ』全一冊(上・昭和二十
年六月二十五日、下・九月二十五日岩波書店「岩波少年文庫」)等。
編著書『千八人集』(合著・田山花袋編、明治四十一年四月十五日
新潮社)、『評釋新文範』(大正二年十一月八日鳥村書房)、現代文

- 章作法』(合著、大正四年一月五日、再刊・五月二十日忠誠堂出版部)、
 國木田獨步著『^{初編}獨步全集』(田山鏡瀾共編、大正十年一月五日博文館)、
 『途上』(大正十五年十一月十五日忠誠堂)、
 『類句新作』(大正十五年十一月十五日忠誠堂)、
 『文範』(編、昭和八年一月十五日日光文館)、
 『文章の研究』(昭和八年二月一日、^{東京}文學表現描寫辭典』(編、昭和八年二月一日、^{東京}金屋堂)、
 『日本古典物語』(昭和十一年十二月、千代田舎書房)、
 『兒童文化・上』(合著・教育科學研究會、^{小川一郎・菅原忠道}滑川道夫・宮原誠一編、昭和十六年二月、千代田村書店)、
 『明治大止の文學人』(昭和十七年四月十五日砂子屋書房)、
 『高山彦九郎』(傳記、^{傳記}物誌、昭和十七年十二月十五日、^{東京}葦村、^{東京}葦村社、^{東京}國民選書)、
 『田山花袋著』(東京の二十年、^{補註}、昭和二十年九月、千代田舎川書店、^{補註}、^{東京}葦川文庫)、
 『^{東京}編』(昭和二十四年十月、千代田山人會)等